

日向東臼杵広域連合議会 全員協議会会議録

令和4年11月14日

日向東臼杵広域連合議会

令和4年11月14日 午後3時29分開会

案 件 1. 次期最終処分場施設整備計画の現状と今後の取り組みについて

出席議員（17名）

1番	黒木高広	2番	黒木金喜
3番	小林隆洋	4番	海野誓生
5番	柏田公和	6番	友石司
7番	日高和広	8番	畝原幸裕
9番	山本文男	10番	中嶋奈良雄
11番	中田政雄	12番	甲斐光徳
13番	岡村正司	14番	椎葉芳一
15番	岩佐祐一	16番	水永正継
17番	請関義人		

説明のための当局出席者

広域連合	吉田健二	川町	甲斐正修
事務局長		環境水道課長	
美郷町	田村靖	諸塚	甲斐一喜
民生課長		住民福祉課長	
椎葉村	黒木治実		
税務住民課長			

議会事務局出席者

局 長	柏田武浩	書 記	駒田康弘
-----	------	-----	------

○議長（黒木高広） 議員各位には、本会議に引き続き御苦労さまでございます。

ただいまから全員協議会を開会します。

本日の案件は、当局から協議の依頼がありました次期最終処分場施設整備計画の現状と今後の取り組みについての1件であります。

それでは、お手元に配付しております会次第に基づき進めていきたいと思っております。

まず、広域連合事務局長から説明を受け、その後、質疑、意見をお受けします。

早速説明をお願い申し上げます。広域連合事務局長。

○広域連合事務局長（吉田健二） それでは、配付しております資料に基づきまして、次期広域最終処分場施設整備計画の現状と今後の取り組みについて御説明いたします。

1 ページを御覧ください。

こちらには、三次候補地3か所から最終候補地1か所に絞り込んだ過程につきまして、選定フローでお示ししております。

右側に示しております第5回用地選定検討委員会において決定しました評価方法に従い、三次候補地の3か所に対して総合評価を行い、最終処分場の建設において総合的に優位性が高い1か所を最終候補地として選定することといたしました。

評価項目としましては、中ほどにありますとおり、環境、防災、建設適性、経済性、用地取得の見込みの大きく5つの分類としております。分類1の環境から4の経済性では、現地調査結果を基に評価内容ごとに評価し、評価基準に応じた点数を加えていく加点方式といたしました。分類5の用地取得の見込みでは、住民説明会等で得られた地域住民の最終処分場整備に関する御意見やアンケート結果などを基に評価しております。

第6回用地選定検討委員会では、それらを総合的に評価いただきまして最終候補地を選定したところです。

2 ページを御覧ください。

評価結果につきまして、各候補地において評価項目ごとに優位な点と課題点をまとめております。丸印が優位な点、黒三角印が課題点であります。優位な点と課題点の個数に応じてAからEまでの5段階で評価し、左下の配点を加えて集計したものが得点欄の点数となります。

それでは、分類1から4の評価結果につきまして、評価結果に差が出た内容について説明いたします。

まず、分類1、環境の水につきまして、候補地ナンバー3、門川町竹名地区及び候補地ナンバー12、美郷町和田若宮地区では、候補地直下流の河川が農業用水として利用されておりますが、候補地ナンバー18、美郷町花水流地区では、農業用水として取水している状況が確認できないことが優位な点として評価され、A評価となりました。

次に、分類3、建設適性の評価結果としましては、候補地ナンバー3では、搬入道路の延長

が長くなり、大規模な造成が必要となることや、取付道路ののり面が流れ盤となる可能性があるなど課題点が5つ挙げられ、C評価となりました。候補地ナンバー12では、既設の盛土部があり、造成形状によっては安定性が懸念されることや国道388号から最終処分場へ進入するための車線の拡張工事が必要となる可能性があるなど、課題点が6つ挙げられ、D評価となりました。候補地ナンバー18では、搬入道路として既設道路があり容易に整備できることと、平場が広いことから作業エリアを確保しやすく、工事車両の進入も容易であることの2点が優位な点として評価され、課題点も1つと少ないことから、A評価となりました。

その結果、分類1から4の評価については、候補地ナンバー18の得点が40.0点と最も高い結果となりました。

次に、分類5、用地取得の見込みにつきましては、6月から三次候補地の地元地区住民及び地権者を対象に、住民説明会と現在使用している最終処分場の施設見学会及びアンケート調査を行ってまいりました。

その結果、候補地ナンバー18におきましては、説明会において建設反対の意思を示される方がいなかったこと、アンケート調査結果では最終処分場建設に対して多くの方が理解を示していることなど、3候補地の中で最も評価が高い結果となりました。

以上の結果を基に、第6回用地選定検討委員会におきまして、総合評価の結果、候補地ナンバー18が最終候補地として選定されました。その結果を受けまして、正副連合長会議において、候補地ナンバー18の美郷町西郷田代花水流地区を最終候補地として正式に決定したところであります。

なお、候補地ごとの詳細な評価結果につきましては、広域連合のホームページに掲載しております。また、用地選定検討委員会の議事録や協議資料につきましても掲載しておりますので、お時間のあるときに御一読いただければと思います。

3ページを御覧ください。

候補地の場所につきましては、大内原ダムから上流約3キロメートルの国道327号沿いになります。田代川が耳川に合流する辺りの小高い丘陵地であります。

その後、11月8日火曜日に花水流地区におきまして住民説明会を開催し、最終候補地に選定された経緯につきまして御報告いたしました。その中で出た御意見としましては、建設が決まったような報道だったが、あくまで候補地であることを周知してほしい、地元だけでなく美郷町全体や周辺自治体の理解も得ながら進めていくべき、地域のイメージダウンにならないよう対策をお願いする、地域振興策はいつから実施されるのかなどが主なものであります。

今後につきましては、用地選定検討委員会と同様に、学識経験者や環境団体、住民代表等で構成する建設検討委員会を設置することとしており、本年度内に策定する基本構想やその後の建設に向けた各種計画につきまして、専門的な立場から御意見をいただきながら進めていくこととしております。

また、地元住民や周辺に対しましても計画内容等を丁寧に説明し、御理解につなげていきたいと考えております。

以上で説明を終わります。

○議長（黒木高広） 説明は以上であります。

ただいまの説明に対する質疑や御意見を受けたいと思います。質疑、御意見はありませんか。柏田公和議員。

○5番（柏田公和） すみません、1点だけちょっと教えてください。

この3か所で住民説明会をやったときに、その対象となった住民の数、世帯数とか人数とか、そこら辺が分かるようであればお願いいたします。

○議長（黒木高広） 答弁を求めます。広域連合事務局長。

○広域連合事務局長（吉田健二） まず、門川町竹名地区につきましては、説明会の対象世帯が38戸、地権者が9人、合計47件でありました。美郷町和田若宮につきましては、こちらは和田と若宮地区、2つ区がありますので、それぞれでございますが、和田につきましては世帯数が106、地権者につきましてはゼロでございます。若宮につきましては、世帯数が59、地権者が6、合わせまして、和田若宮地区全体で171となっております。美郷町花水流地区につきましては、世帯数が58、地権者が12、合計で70件となっております。

以上でございます。

○議長（黒木高広） ほかに質疑、御意見ありませんか。山本文男議員。

○9番（山本文男） 花水流地区での住民説明会ですが、建設反対の意思を示している住民はいなかったと書かれてあります。このとおり一人もいなかったということで理解してよろしいでしょうか。

○議長（黒木高広） 答弁を求めます。広域連合事務局長。

○広域連合事務局長（吉田健二） 今お話ししたのは、地元説明会を3地区それぞれ行いましたけれども、その説明会に来られた方の中からは反対の意思を示される方はいらっしゃらなかったということでございます。

○議長（黒木高広） よろしいでしょうか。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（黒木高広） ないようですので、以上で全員協議会を閉会します。

議員の皆さん、御苦労さまでございました。

閉会 午後3時40分